



令和7年6月26日
部署：教育委員会 学校教育部
指導課
電話：(082)420-0976

被爆80周年及び平和・非核兵器都市東広島市宣言40周年 オンライン平和学習 「東広島市で語り継ぐ戦争と平和」 ～未来へつなぐ平和のバトン～

原爆投下から80年、そして本市の平和・非核兵器都市東広島市宣言から40年。今年は、平和について改めて考える大きな節目の年です。

東広島市教育委員会では、緑豊かなこの学園都市を未来へつなぐため、本市だからこそできる平和学習を展開し、子どもたちに平和の担い手としての意識を育むことを目指しています。

この度、市立小中学校に通う児童生徒を対象に、本市の戦争体験者や平和を語り継ぐ高校生とつながり、戦争の実相に触れ、平和の尊さを学ぶオンライン平和学習を実施します。

1 日時

令和7年7月7日（月）13：30～15：15

2 対象

市立小学校第5・6学年、市立中学校第1～3学年

3 オンライン平和学習のポイント

(1) 戦争を生き抜いた人の証言に学ぶ

- ・宮川 静登さん（96歳）
→16歳のとき、登校中に広島駅付近で被爆
- ・大林 春美さん（94歳）
→原爆投下11日後、救護隊として入市被爆

(2) 同世代が伝える「平和のバトン」

- ・賀茂高等学校生徒が取り組む平和伝承活動を紹介

(3) 学校を超え、未来に向けて語り合う

- ・市民の声で生まれた「平和・非核兵器都市宣言」に込められた思いを考える

4 その他の取組み

本市教育委員会では、平和に関する授業づくりや家庭での学びを支援する「平和学習ポータルサイト」の整備、学習やイベントの記録を行う「平和パスポート」の活用促進に取り組んでいます。また、本オンライン平和学習での証言や資料は、デジタル教材としてアーカイブ化し、これからの平和学習へと受け継いでいきます。



<戦争体験者へのインタビュー>



<賀茂高校の生徒による伝承活動>

※取材を希望される場合は、事前に指導課までご連絡ください。